

子ども会表彰

1月28日、川薩地区子ども会大会が薩摩川内市で行われ、浅井野子ども会と弓之尾子ども会が鹿児島県優良少年少女団体表彰を、紫尾上子ども会が川薩地区子ども会育成連絡協議会表彰をそれぞれ受賞しました。

これは、各子ども会で長年にわたり実施してきた活動が青少年の健全育成に、そしてその地域の活性化に大きく貢献していることが高く評価されたものです。

おめでとうございます。



左から弓之尾子ども会、浅井野子ども会、紫尾上子ども会

種をまく関係者



葉たばこ種まき

1月27日、薩摩地区葉たばこ育苗組合の播種式が柏原区の薩摩地区葉たばこ育苗施設で行われました。

母ヶ野初雄組合長が「昨年は天候に恵まれず成績が伸び悩んだが、今年は一致団結して日本たばこが求める熟度の高い葉たばこを栽培しよう」とあいさつした後、今年の豊作を願いながら耕作者や関係者が苗箱に種をまきました。

育った苗は、本町と薩摩川内市の生産者に配付され、本町では42人が面積約52.2ヘクタールで栽培されます。

第4回 梅の花咲く薩摩ツアー

2月15日、薩摩観光協会主催の「第4回梅の花咲く薩摩ツアー」が開催されました。

このツアーは、鹿児島市からの日帰りバスツアーで、約300人の応募の中から抽選で選ばれた98人が当日参加しました。

さつま町梅振興会の市山正弘会長の梅園を散策し、花は3分咲き程度でしたが、参加者は梅の特徴など、スタッフから詳しく聞き「収穫の時期にもう1回来てみたい」と話していました。

その後、農産物加工センターを見学し、ガラス工芸館では今年発表された新作の「黒薩摩切子」に見入っていました。観音滝交流センターでは、地元食材を使った「煮しめ」の昼食に、懐かしい味を感じながらおいしそうに食べていました。

また、インターナショナルゴルフリゾート京セラで入浴して日頃の疲れを癒し、薩摩特産品直売所で買い物を楽しみました。

当日はあいにくの天気でしたが、参加者から「ぜひ来年もまた来てみたい」という意見が多数寄せられました。

梅園の散策を楽しむ参加者



農産物加工センターの見学

